

困った子は 困っている子 ～あふれでたのは、やさしさだった～

御坊・日高圏域自立支援協議会(子ども部会)と日高地方特別支援教育研究会では毎年、発達障害等のある子どもたちの、地域における社会的自立を支えるため、教育・保健・福祉・医療等の各支援機関のさまざまな立場の皆さまを対象として講演会を開催しています。

今回は、作家・詩人の寮 美千子(りょう みちこ)さんを講師にお迎えします。2007年から10年間、「社会性涵養(かんよう)プログラム」の一環として奈良少年刑務所で行ってきた『絵本と詩の授業』を通して、世間とコミュニケーションを取れなかった少年たちが、固く閉ざしていた心の扉を開いていく変容を語ってくださいます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 令和5年11月11日(土)
13時45分～16時(受付13時～)

会場 日高町保健福祉総合センター
(日高町小中1308) *日高中学校から北へ200m

講師 寮 美千子 さん (作家・詩人)



寮 美千子(りょう みちこ)さんのご紹介

作家・詩人。1955年、東京都生まれ。毎日童話新人賞、泉鏡花文学賞を受賞。2006年、奈良に移住。2007～16年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラムにおける言葉の講師を務める。

絵本に『おおかみのこがはしってきて』(ロクリン社刊)、著書に『あふれでたのはやさしさだった』(西日本出版社刊)他多数。受刑者の詩をまとめた『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』は「新潮文庫の100冊」に選ばれた。第2詩集『世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集』(ロクリン社刊)には、「詩の教室を開く12のポイント」とベテラン教官に聞いた「子どもを追い詰めない育て方」を収録。

●対象 教育/保育/保健/福祉/医療 等の関係者(支援者)、保護者、その他

●定員 100名

●主催 御坊・日高圏域自立支援協議会
子ども部会
日高地方特別支援教育研究会

●協力団体 日高・御坊地域障害児者の生活支援をすすめる会

- *風邪の症状など、体調のすぐれない場合は、出席をお控えください。
- *日高町保健福祉総合センターの駐車場が満車になった場合は、日高中学校に停めてください。(駐車場係の案内に従ってください。)
- *できる範囲で乗り合わせてご来場ください。

●申込み方法

裏面の参加申込書をFAX、または同内容をメールで、御坊・日高圏域自立支援協議会事務局あてにお送りください。

メール: info@gobo-hidaka.com

FAX: 0738-23-2201

参加申込み受付期間

10月2日(月)～25日(水) 厳守

ただし、定員に達した時点で締め切らせていただきます。

- 講演会開催についての前日までの情報は「御坊・日高圏域自立支援協議会」HPに掲載します。
- 当日9時の時点で大雨、洪水、暴風などの警報が御坊市または日高郡内に発令されている場合は、中止とします。講演会中止の場合は、申し込みれた方に直接ご連絡します。